岐阜大学附属図書館報　ISSN 0915－8960

寸　胴

THE GIFU UNIVERSITY LIBRARY BULLETIN　第13号　1994.6

目　次

附属図書館の機構改革 … 1部2課制のスタート
梶山雅史 …… 1
館蔵資料紹介 No.4
度会（千萱）義利書入れ本『延喜式』について
早川万年 …… 2
教官推薦図書
目標と時間　恵良聖一 …… 4
『環境倫理学のすすめ』　古田喜彦 …… 4
岐阜大学キャンパス情報ネットワーク(学内LAN)による
MEDLINE（医学文献データベース）の提供
附属図書館医学部分館 …… 5
図書館勤務の思い出　溝口敏博 …… 6
図書館の回想　森　一雄 …… 6
グラフで見る附属図書館統計 …… 7
平成5年度基本図書購入リスト …… 9
図書館員から一言　大野純嗣 …… 10
川合妙実 …… 10
お知らせ …… 10

附属図書館の機構改革 … 1部2課制のスタート

梶　山　雅　史

平成6年度に附属図書館は事務機構を改組し，新たに事務部長，情報管理課長，情報サービス課長の設置により，事務長制から事務部課長制に移行します。

情報管理課のもとに図書館専門員，総務係，資料受入係，目録情報係が組織され，係長併任であった図書館専門員は専任職となり，一方，情報サービス課のもとに閲覧係，参考調査係，医学部分館図書係が組織され，1部2課6係編成となります。

事務職定員20名は変わらないものの，職制定数の振り替えにより，より機能的な事務機構体制に脱皮するというわけです。平成6年度予算が今国会において成立するとともに，いよいよ新システムがスタートします。

図書館業務は，近年学術情報システムの著しい進展，さらに大学図書館相互の協力体制と国際的ネットワークの整備，相互利用が進行する中で，図書館の情報環境は急激に変貌しつつあります。一昨年，ILL（図書館間相互貸借）システムが稼動して以来，本学附属図書館が昨年一年間に取り扱った文献複写件数を例示してみますと，他機関への依頼8,025件，他機関からの依頼受け入れ7,705件，実に総計1万5,700件を超すに至っています。これは，前年度比約30%増であり，5年前と比較すると73%もの増大となっています。

ますます質，量ともに多様化，高度化する図書館業務に対処するには，なんとしても図書館機構の改革，責任体制の明確化，連絡調整の円滑化，そして職員の地位向上を図ることが不可欠であり，附属図書館委員会の了承を得て，事務機構の改編に踏み切った次第です。

この春，時あたかも本学の学内 LAN（Local Area Network）が一挙に完成し，まさに情報図書館機能の本格的整備を推進すべき段階に立ち至っています。絶妙のタイミングをもって，今回，事務組織改編を実現しえたことはまことに喜ばしい限りです。

このたび本附属図書館に迎える事務部長は，大阪大学附属図書館から，情報管理課長は，本学庶務部人事課から，情報サービス課長は，放送大学学園教務部図書課からの就任であり，それぞれ図書館専門職として他大学図書館の要職を担ってきた経験豊かなエキスパート，そしてまた本学事務局の枢要にあった学内行政のベテラン，いずれも得難い有能な人材を初代部課長に迎えることができました。まことに心強い新機構の発足です。

山積する課題の解決に向けて確かな一歩を踏み出したいと思います。

（かじやま　まさふみ：附属図書館長）

館蔵資料紹介 No. 4

度会（千萱）義利書入れ本『延喜式』について

早　川　万　年

延喜式は，平安時代の延長５年（925）に撰上された法典である。全50巻，総計およそ3,300条と数えられる法令集は，律令格の施行細則にとどまらず，その内容が実に多岐にわたるところからして，日本古代史研究上，きわめて重要な意義を有する。また，その成立後も，永きに亙って規範的な役割を果たした。そのため，江戸時代に既に注目されるところとなっており，慶安元年（1648）以来刊行が重ねられ，明治以降には，代表的な史料集である国史大系をはじめ，いくつもの史料集に収められている。

さて，この延喜式がどのように伝来したかというと，むろん平安時代に編纂されたものがそのまま今日に伝わっているわけではない。後世の写本がいくつも存在し，それらの比較検討の上で，現在のわれわれが見ることの出来る延喜式本文が提供されている。この，諸本の比較検討（校合）の際，基礎となるテキストが底本であるが，明治以降の各種活字本延喜式の底本となったのが，享保版本である。本書は流布版本と言われるように，多く流通したらしく，現在でも，各地の図書館に所蔵されており，また古書店の目録にも，しばしば掲載される。以下に紹介する本学図書館所蔵の延喜式版本も，この享保版であるので，それ自体は珍しいわけではない。

ところが，本学所蔵本は表題にも掲げたように，巻50の奥書から，もとの所有者（度会義利）がわかっており（本学の前身の一たる岐阜師範の所蔵に帰した経緯は明らかでない），しかも多くの書込が認められる。そのなかには「宣長云」「信友云」などとして，近世の著名な国学者である本居宣長，伴信友の語句解釈を引用する場合もあるが，多くは本文の校訂に関わるものである。その校訂書込が何に由来するかというと，巻50奥書（別掲写真）には，

右延喜式五十巻以橘本肥後守経亮校合之本＜旧安田伝大夫広治所持也今時広辻勘解由光昶買得而以蔵之＞対校之畢但於神名帳上下二巻先年借橘村弾正正克以件本所比校之本而以已所比照也（＜　＞はもと割注）

天保11年３月朔日　　度会義利

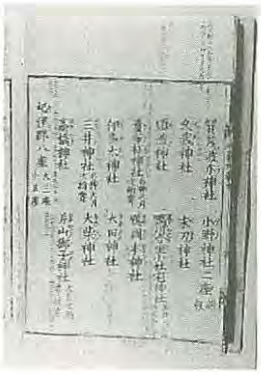
とある。すなわち，度会義利は，橘本肥後守経亮校合本の延喜式を参照，対校したとし（その橘本経亮本は，もと安田伝大夫所持本であって，今は広辻勘解由が買取って所蔵している），ただし巻９・10については，橘本弾正正克の比校本を以て対照したとする。

ここに記される人名について簡単に説明すると，まず，橘本肥後守経亮は，京都の梅宮神社の神職で，本居宣長と親交厚かった人物。安田伝大夫広治は，宣長の娘，能登の夫であり，伊勢神宮の宮掌。ともに宣長の書簡に何度も登場する（筑摩書房版『本居宣長全集』17巻参照）。広辻勘解由光昶（松叟・光春とも）は，文化13年（1816）４月13日生，明治21年９月10日に74歳にて没している。足代弘訓，中島広足の門人で，明治元年10月設立の宮崎学校（所在地は三重県伊勢市岡本）の教官であった。神宮にも仕えたことがあり，茶道の大家であったという（『校訂伊勢度会人物誌』）。橘本弾正正克も，伊勢神宮の権祢宜であって，外宮儀式解の著者として，その名が知られている（大神宮叢書『外宮儀式解』付録，橘本正克神主伝）。

奥書の筆者である度会（千萱）義利は，やはり伊勢神宮（外宮）の御師であったらしく，文化６年（1809）９月25日生，安政３年６月20日に48歳にて没したことがわかっている。本居宣長の子春庭の門人であって，神宮類典，内宮儀式帳増訂等の著書があるという（『校訂伊勢度会人物誌』『和学者総覧』）。

すると，京の橘本経亮が校合した延喜式を，何らかの事情で伊勢在住の，宣長の女婿が所持しており，それを広辻勘解由光昶が買取った。そこに見られる校異を，橘本正克，度会義利が自分の延喜式に書き入れたとの経緯がわかる。奥書の日付からして，度会義利はこの時32歳であったことになる。義利はその校合の際に，校異のみならず，経亮，広治らの書込，さらには，おそらく経亮本にあったと思われる諸家の見解をも，そのまま引き写

している。たとえば，巻1の内表紙裏に，享和元年（1801）10月13日に校合を終えたとする上田百樹の識語が見られるが，これなどは，経亮本にあったものを，そのまま写したのであろう。ちなみに，上田百樹は京都在住の国学者であって，宣長門人の一人である。



このほか，曽我部元寛（阿波の律令学者，京都にて活躍），山田以文（同じく京都在住の有職家），吉見幸和（名古屋東照宮神官，神道学者），小山田与清（武蔵出身の国学者，考証学者），益谷末寿（伊勢神宮神官，神道学者）などの見解が引用されている。また，巻4（伊勢大神宮式），巻8（祝詞式），巻9（神名式上），巻10（神名式下）には，義利によると思われる夥しい書き入れがなされており，神宮の師職として当然とはいえ，その関心の高さと研究の程が知られる。

ただし，50巻の中には，明らかに筆の異なる書込が見られ，また各冊の初頁には，「千萱蔵書」と並んで，「須賀之屋」という蔵書印が押されている点からして，本書は度会義利の後，幾人かを経ている可能性も認められる。

さて問題となるのは，その書込，校異注の内容である。まず，巻一の首題の刊記に続けて，次の付箋が見られる。「此延喜式出雲寺校本ノ原本ナラント思シキ本，穂井田忠友校合ノ由，瀬戸久教云ヘリ。」ここに登場する穂井田忠友は，正倉院文書の調査で著名な古典学者であるが，この，出雲寺版，すなわち享保版本の原本と推測される本を見たとする記載は重要である。というのは，流布版本は，その初刊が慶安にまで遡り，全巻揃った写本に乏しい延喜式としては，本文研究の上で重要な位置を占める。にもかかわらず，この流布版本の由来するところは明確でない。当然，当時伝来していた写本に拠ったはずであるが，いかなる写本を参照したのかわからないのである。ところが，その原本となるものを忠友は見たとする。版本延喜式の本文追求の端緒が示されたと言うべきであろう。

次に，巻13の末尾に，「日野家古写本奥書」なるものが書き加えられている。これは元禄13年3月とあって，さほど古くはなく，また実際に日野家本による校異が記されているわけでもない。しかし，日野家本などという延喜式の存在は，従来，知られていなかったところである。

もうひとつ，いささか専門的になるが，巻44（勘解由使式）に見られる標註について触れておこう。本学図書館所蔵本巻44には，経亮本に拠ったのであろうが，条文の上に「貞」の字がしばしば書き加えられている。その内，7箇所については，これまでの諸本の検討では，気付かれていなかったものである。一般にこの「貞」は，延喜式に先行する貞観式に，この条文が見られることを指示すると考えられており，貞観式が散逸してしまった現在，実に貴重な付標と言わざるを得ない。しかも，この標註書込によって，新たに7箇条が貞観式にて定立したと判断できるとなると，これまでにわかっている9条（神道大系本延喜式に拠る）と併せて，勘解由使式26条のうち，実に16条までが，貞観式にて立制されたことになる。この点は，より考察を深めねばならないが，勘解由使の法制的な側面を検討するうえに，注目すべき問題となろう。

このように，本学所蔵の延喜式版本は，非常に貴重な情報が盛り込まれている。通常，写本に比べて版本は，世上に流布していることもあって，さほど注意が払われない場合が多く，この享保本延喜式の存在なども，それほど顧みられていない。ところが右にその一端を述べたように，書込，校異注などがあれば事情は変わる。だれがその書籍を持ち伝え，それをどう読んだかという問題は，決して蔑ろにできないのである。また，そこに諸本の校合成果が示されているとなると，本文研究のうえで重要な知見をもたらすこともあろう。典籍の伝来という点に目を向ける必要性を，ここに強調しておきたい。

（はやかわ　まんねん：教育学部助教授）

（本図書の配置場所：特別資料・フィルム庫）

教官推薦図書

教官から，その専門分野を専攻しようとする学生に先ず薦めたい入門書・基本図書，あるいは，より多くの教官・学生に教養書として是非一読を薦めたい図書を紹介していただいています。

目　標　と　時　間

恵　良　聖　一

世の中で平等ということばが良く使われ，これを勝ち取るためには現在でも多くの血を流さねばならないところもある。しかし，生物，無生物を問わず万物全てに平等なものは，「時間」である。この時間を如何に有効に使って過ごしたかが，気がついたときには他人とは多くの差となって表れてくる。

アメリカに留学していたとき，自宅から勤務先までの通勤にバス，地下鉄，バスと乗り継いでいたので，概してボケッとしている時間が多かった。新聞を読んだりもしたが，多くは子どもが通っていた日本人学校の図書館にあった本をいろいろ借りてきて読んでいた。その中で，元東大教授の竹内均氏が書いた『私の知的鍛練法 — きれっぱしからの発想』（徳間書店）*というのが非常に印象に残った。一般の啓蒙書ではあるが，氏のこれまでの過ごしてきた道程を振り返りながら，自分の目標を如何に立て，それを実現させるために限られた時間を如何にして有効に使ってきたかが書いてあった。要は，誰もの日常の中で生じている，どうにもならないようなわずかなこまぎれの時間をどう有効に使って勉学や仕事をすすめてきたか，ということである。さらに，仕事が行き詰まってどうにもならなくなってしまわないように，複数の仕事をうまずたゆまず同時進行させていけば，自分の立てた目標は必ずや達成される，というものである。これらのことは，私の現在の仕事の進め方に非常に参考となっている。さらに，元東大教授の糸川英夫氏の『驚異の時間活用術 — なぜこれほど差がつくのか？』（PHP文庫）**にもまた，同様のことを実行することによって，自分の目標を達成してきたかが書いてある。いずれの書も，一般の書店で簡単に安く手に入る。

しかし，これを実行できるかどうかは読者個々の問題であり，実行できるのも個々の能力の一つであろう。

（えら　せいいち：医学部教授）

（配置場所：*発注中** 3階開架 159 Ito）

『環境倫理学のすすめ』（丸善ライブラリー：加藤尚武著）

古　田　喜　彦

作況指数など農学の専門家も忘れかけていた言葉をごく普通の人も使ったほどの昨年の不作の稲作に反し，小生にとっては比較的稔りの多い1993年であった。そのひとつは教養課程で「総合科目：環境と農学」にひっぱり出され「地球と生命（いのち）の誕生」と「環境と生物生産」を担当したことである。遺伝学といういわば一見それらとは対極的な専門にどっぷりつかっていた自分には中年の挑戦であった。星の好きな専攻生のコンサルタントを得て，星のように瞳のきらきら輝く新入生に講義できる教養部の先生方の喜びを体験できた。

環境問題は人類にとって医療や保険に似たところがあり地球人・生物みんなの問題だとしめくくった講義にちょっと言い過ぎかなと感じていた昨秋この本を知った。著者のいう「エネルギー・人口・食糧問題のような人間と文化の生存の可能性に関係の深い大きな問題がすべて地球環境問題という核を中心にして互いに関係しあっている」はまさしく広義の農学的課題であり，著者は次の３つの主張を新しい人類の共通課題としている。Ⅰ自然の生存権の問題：人間だけでなく生物種・生態系・景観などにも生存権がある，Ⅱ世代間倫理の問題：未来世代の生存可能性に対するわれわれの責任，Ⅲ地球全体主義：地球の生態系は閉じた世界。奴隷・婦人・黒人解放に続く「自然の権利拡張」として環境問題をとらえるところはさすが倫理学である。「もはや自然か人為かという単純な選択ではない」（P177）環境問題はまさしく地球医療といえまいか。この小さな本の内容の詳細な評価は読者の心に委ねたい。

哲学や倫理学は小生にとってはちんぷんかんぷんの世界，また昨今哲学倫理不毛の時代とか又聞きしていたので，なにげなく手にしたこの本から期待以上の収穫があった。読書の成果はこれに尽きる。大学で，青春時代に大切にしてほしいもの，それは専門への挑戦と異分野への好奇心であろう。志望した学問や仕事のできる喜びとともにふとしたことから，あるいはいやいややらねばならないことから思わぬ収穫や発見があるのも大学であろう。（ふるた　よしひこ：農学部教授）

（配置場所：３階開架 519.5 Kat）

岐阜大学キャンパス情報ネットワーク（学内LAN）による MEDLINE（医学文献データベース）の提供

平成５年度に構築された学内LANを利用して附属図書館医学部分館内の富士通製UNIXファイルサーバS－4／10モデル51に米国CD Plus社製の検索ソフトウェアOVIDと医学文献データベースMEDLINEを搭載することにより，MEDLINEを学内LANを介してネットワーク環境で全学的に利用できるようになり，今までのスタンドアロンでのCD－ROMによるMEDLINE検索システムに比べて利用環境が大幅に向上しました。

１．医学部分館内でのMEDLINEの利用が便利になりました。

医学部分館では，既存のパソコン３台（SONY Quater L　２台，NEC PC9801DA　１台）がイーサネットケーブルに接続され，いずれのパソコンからでもMEDLINEを検索できるようになりました。また，検索処理はサーバ側で行われますので，今までのようにカウンターでCD－ROMディスクを借りてくる手間がなくなり，検索スピードもかなり速くなりました。

２．研究室や附属図書館本館のパソコンからもMEDLINEを利用できます。

医学部分館の端末を含めて同時に10ユーザまでアクセスできます。研究室のパソコンからアクセスするには，あらかじめサーバにユーザのログイン名とパスワードを登録しておく必要があります。接続を希望される方は，医学部分館までお申込みください。通信プロトコルはTCP／IPというインターネットで使用されているプロトコルを使っています。端末の機種は限定されませんが，その機種に対応しているLANボードとTCP／IP通信ソフトウェアが必要です。

３．検索結果のダウンロード及びプリントアウトについて

現在のところ，端末側に容易にダウンロードしたり，プリントアウトするには，IBM及びその互換機（通信ソフト：NCSA Telnet）かMacintosh（通信ソフト：Versaterm）が望ましいようです。NEC PC9801やFMRはScreen Captureという方法で画面データをファイルに落としてダウンロードしたり，プリントアウトします。

４．24時間利用できます。

メンテナンス日を除いて24時間稼働予定ですので，閉館時間でも館外の端末からMEDLINEを利用できます。

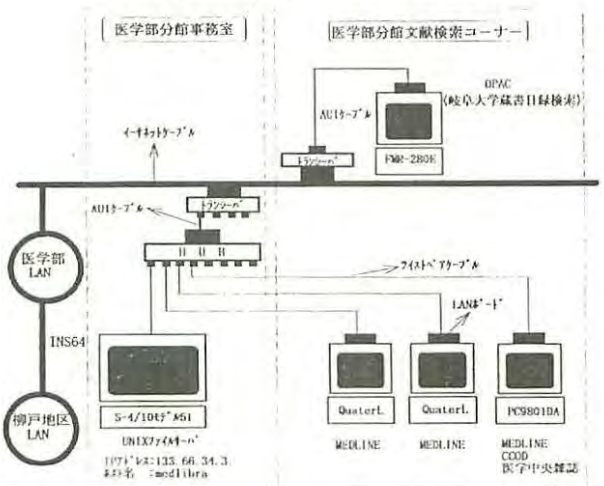
５．CD Plus社MEDLINEの特徴

MeSHと呼ばれるシソーラスを非常に重視した検索システムとなっていて，自然語を適正な検索語に導いてくれます。

学内LANを利用した研究室からの接続方法，利用方法については，次号で紹介する予定です。

（附属図書館医学部分館）

岐阜大学MEDLINEネットワーク検索システム概念図



図書館勤務の思い出

溝口敏博

私が図書館にお世話になったのは，昭和54年４月総務係長に配置換になってからです。当時は３分館（那加，長良，医学部）に分かれていて本館は那加分館に含まれていました。業務の課題は大きくわけて２つあり，電算化の推進と統合移転計画への対応でした。電算化では，館員がプログラムを組めるようにと講師を招き日常業務の合間に勉強したこと，紙テープを切り張りしながら電算業務に一歩一歩取り入れて行ったこと，統合移転計画の準備としては，建物の設備関係で冷暖房の経済的使用方法の検討，書庫や書架の配置計画等様々のことに追われていたことを思い出します。

定年まで２年を残した２度目の勤務になったのが平成４年４月でした。館員の皆さんは若返っていて当時からの知人も少なく，５～６人でしたが心強く感じました。紙テープは専用電算機に変わり，一人一人が電算機で業務を合理的に処理していることに驚き，皆さんの努力の成果だと思いました。１度目の勤務から12～13年後の新館は蔵書数が75万余冊に増加していて，計画よりも早く狭くなった誤算に反省し概算要求に努めてきました。

新しい業務では資料保存検討委員会を各係から一人一人協力願って，閲覧係長をチーフにプロジェクトチームを作り，館長の努力で３ヶ年計画の予算も確保して，初年度は和装本にナフタリンペーパーの挿入，資料保存用の設備機器の設置等を実施しました。

終わりになりましたが，定年間際になり電子図書館システムへの一歩にワークステーション設置，情報ネットワークの活用に学内LANの敷設等で繁雑致しましたが，思い出多い４ケ年で大変お世話になり誠に有り難うございました。お礼申し上げます。

（みぞぐち　としひろ：前事務長）

図書館の回想

森　一雄

1994年３月，41年11ケ月お世話になった岐阜大学附属図書館を定年退職しました。この間，多くの先輩，同僚の皆様に助けられ無事卒業できましたことを大変感謝しております。想えば1952年５月16日（金），坊主頭で学生服を着て岐阜大学学芸学部図書館へ初出勤しました。当時の図書館は，旧師範学校の武道場を改造した薄暗い部屋で，正面右側剣道場を閲覧室に，左側柔道場が書庫に，奥の更衣室が事務室になっていました。

数多くの思い出から数点を列挙します。

1961年，図書館新築にともなう図書の運搬は，数百米の距離のため，荒縄で図書を十文字に縛り順番札を付け，トラックの荷台に積み込んだものでした。新図書館は人文・社会系の学科と同居したため，それらの研究室の図書の多くが図書館に収納され，利用者に重宝がられました。

1966年・67年，指定図書制度の実験館となり，真夏の夜，冷房設備がないため窓を開け虫と格闘しながら，多数の複本の受入・整理をしました。

1970年，医学部分館では，閲覧室の拡張と模様替えのため，出版年の古い図書を段ボール箱に詰め，書庫の一隅に積み上げ，閲覧スペースを確保しました。模様替えが完了した場所へ，本を手渡しリレーで移動させました。

1974年10月，本学が当番大学となって第45回日本医学図書館協会総会が，塙功分館長を議長に，岐阜市の商工会議所で開催されました。全国から加盟館の館長・主任司書200名余の参加を得，さらに韓国医学図書館協議会からは２名の来賓を迎え盛大裏に終了しました。

1982年，柳戸地区に附属図書館本館が竣工し，那加地区から移転を行いました。新図書館は平林芳夫館長のもと，資料の集中化が図られ，那加地区の自然科学系の和・洋雑誌の大部分が図書館に収納され，雑誌の重複購入もなくなり資料の有効活用がされています。

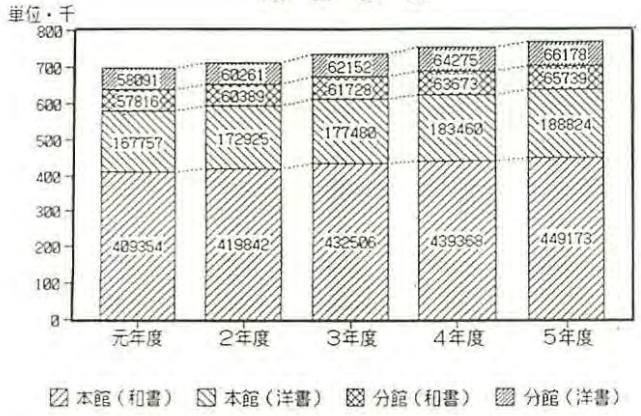
どの事項を実施するについても，関係各位の絶大なるご援助とご協力の賜と，改めて深く感謝しています。

（もり　かずお：前専門員）

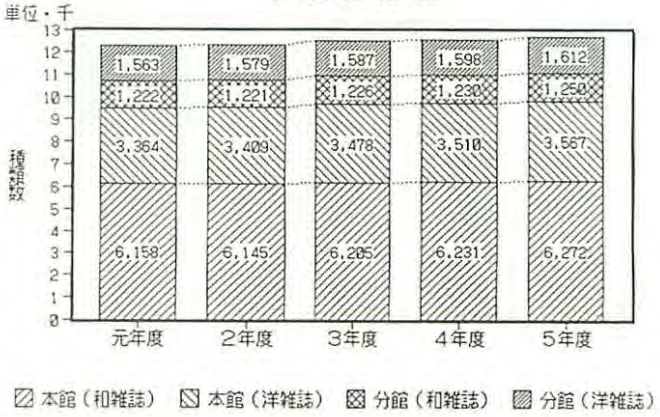
グラフで見る附属図書館統計

平成５年度末現在で過去５年間の資料の所蔵状況及び利用の動向の各種統計をグラフで表しました。

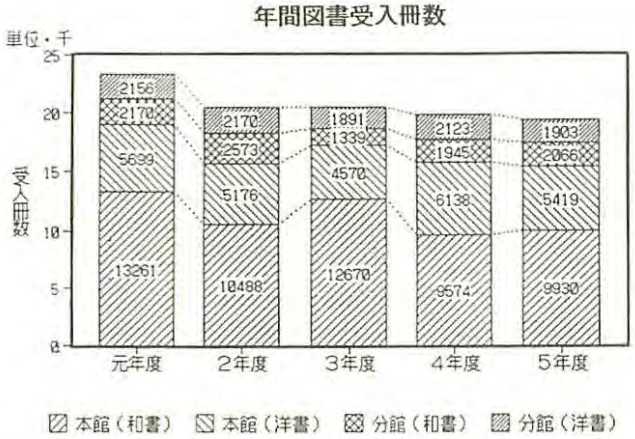
蔵書冊数



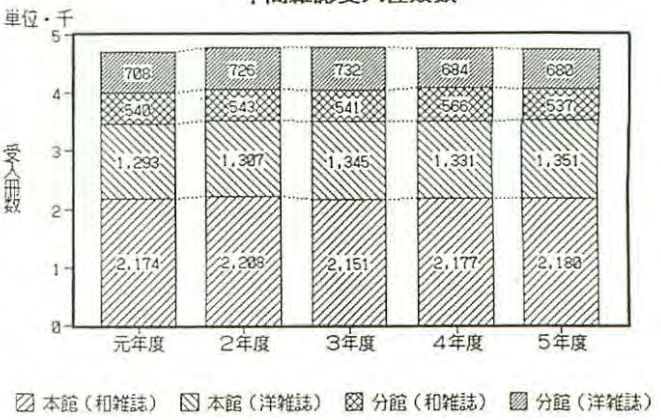
雑誌種類数



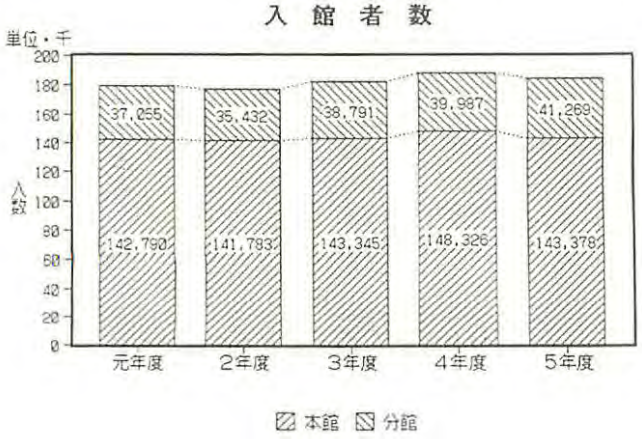
年間図書受入冊数



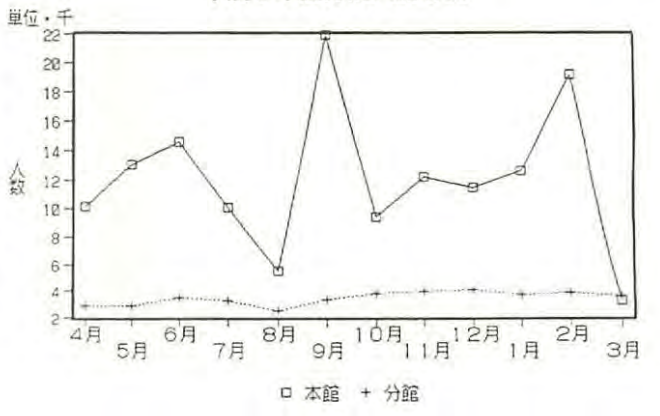
年間雑誌受入種類数



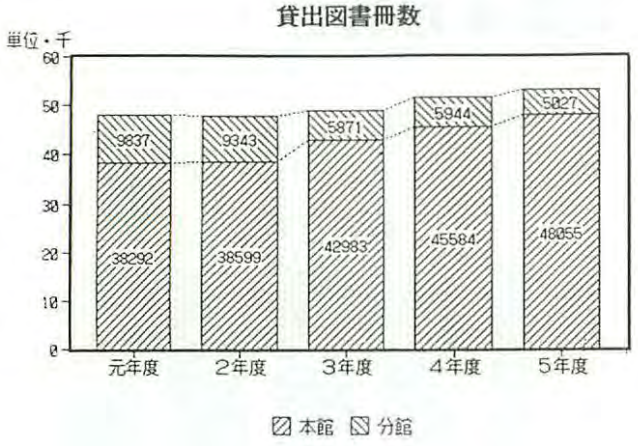
入館者数



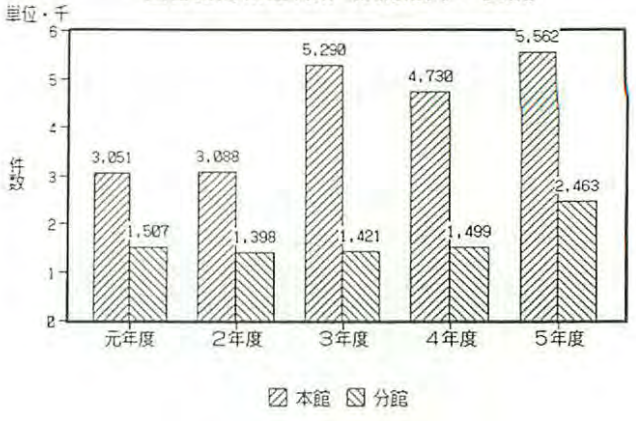
平成５年度月別入館者数



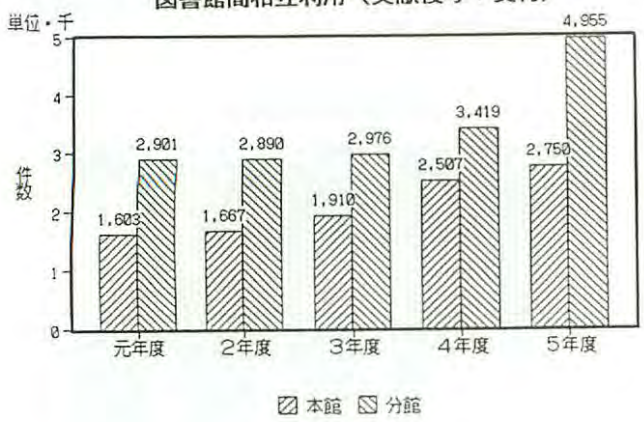
貸出図書冊数



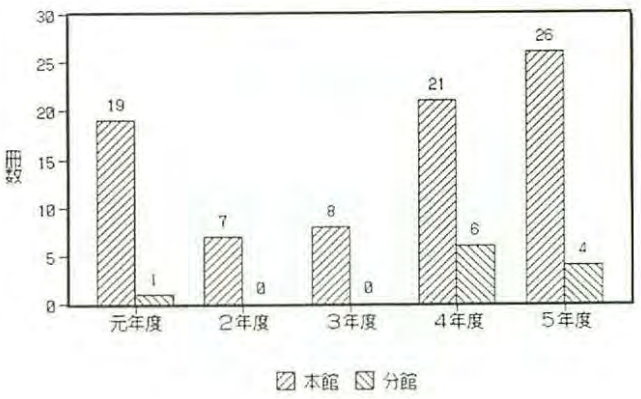
図書館間相互利用（文献複写：依頼）



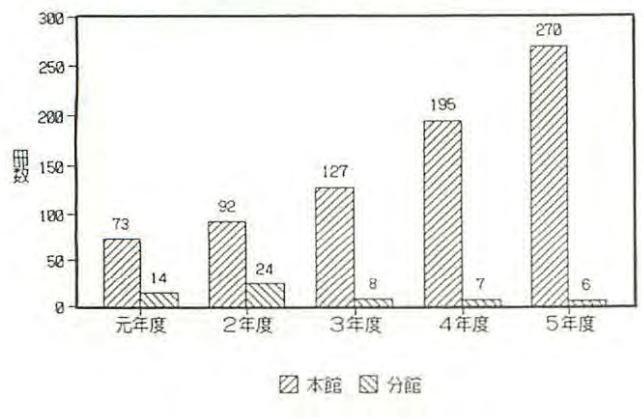
図書館間相互利用（文献複写：受付）



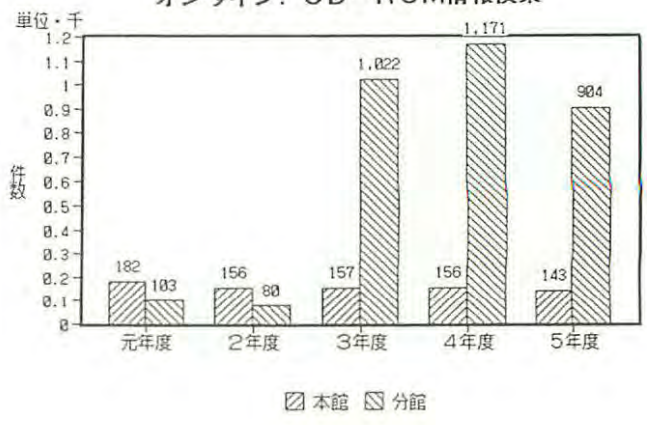
図書館間相互協力（貸出）



図書館間相互協力（借用）



オンライン．CD－ROM情報検索



平成５年度基本図書購入リスト

資料選定委員会によって選定された下記資料を購入しました。
ご利用にあたっては，OPAC で所在場所等をご確認下さい。

日本国勢地図	本館	Encyclopedia of human biology, 8vols	本館
往来物大系	本館	The Encyclopedia of language and linguistics, 10vols	本館
教育週報　第８－14巻	本館	Webster's complete dictionary of the English language.	本館
Handbook of statistics, 11vols	本館	国立国会図書館所蔵明治期刊行図書マイクロ版集成索引 CD－ROM	本館
Fluid mechanics and its applications series, vol. 1－18	本館	医薬品の開発　全23巻	分館
Nineteenth century short title catalogue, 1816－1870, vol. 22－28	本館		

平成６年度岐阜大学附属図書館関係委員会委員

	附属図書館委員会委員	資料選定委員会委員	館報編集委員会委員	図書・紀要編集委員会委員（医学部分館）
館長	梶山雅史	梶山雅史	梶山雅史	
医学部館長	岩田弘敏	岩田弘敏		岩田弘敏
教育学部	利部伸三	利部伸三		岡野幸雄
〃	小川克正		小川克正	藤原久義
医学部	片桐義博	片桐義博		片桐義博
〃	吉見直己		吉見直己	吉見直己
工学部	山口七郎		山口七郎	坂野𠮷子
〃	寺戸敏彦	寺戸敏彦		伊藤八次
農学部	百町満朗			太田宗一郎
〃	松本康夫	松本康夫		森良雄
教養部	洞澤伸			山田貴章
〃	金折裕司	金折裕司		猿井宏
医療技術短期大学部	山崎捨夫	山崎捨夫		操良
（事務部）		大西隆司	森生也	
		小林かず子	小林かず子	
		中斎二三博	上口正昭	

職　員　の　異　動　平成６年１月～４月

３．31　溝口　敏博　退　職（事務長）
〃　森　一雄　〃　（専門員）
４．１　渡邊　正人　事務局付（大阪大学附属図書館情報サービス課長）
〃　大西　隆司　〃　（庶務部人事課課長補佐）
〃　森　生也　〃　（放送大学学園図書課課長補佐）
〃　小林かず子　専門員（整理第二係長）
〃　高木　昭　整理第二係長（名古屋工業大学附属図書館）
４．１　上口　正昭　参考調査係長心得（整理第二係）
〃　村上　喜廣　医学部分館図書係長（参考調査係長）
〃　堀　秀廣　総務主任(医学部管理課環境主任)
〃　太田　忠　農学部（総務主任）
〃　福島　俊博　工学部（総務係）
〃　沢田　聡子　〃　（〃）
（）内は前職名を示す

図書館員から一言

大野純嗣

昨秋，自宅を引越しした。13年分の本の山には，ただの驚くばかり…しかし，いざ，捨てるとなると想い入れのある本ばかりで，簡単にポイという訳にはいかない。ふと思い出した時に，手の届く所にあれば…，という訳で，職場である図書館に寄付することを思い付いた。こうしておけば，見たい時には見れるわ，保存もしてくれるわ，荷物は減るわ，一石三鳥の良いことづくめ。これは良い手だと思ったのだが，断られてしまった。その訳は，もう収容能力が限界とのこと。十数年前，移転した当時は，膨大なスペースがあったのに，毎年かなりのペースで増え続け（平成５年度は約１万５千冊！），書庫増設の概算要求をしているとか…。もちろん，本館の蔵書は研究・学術書が中心だから，私の趣味の本等，断られて当然と言えば当然だけど…。邪な考えから，図書館の現状を垣間見たような気がした。

（おおの　じゅんじ：総務係）

川合妙実

私が医学部分館で勤務し始めたのは平成４年４月でした。ちょうどその時，私が担当する事になった相互貸借業務は，学術情報センターによって開発されたILLシステムにより，相互貸借の依頼がそれまでのはがき申し込みから一変して，オンラインで申し込めるようになりました。そのため文献の入手が迅速になりました。お申し込みになられてから１週間後ぐらいでお渡し出来るように努めていますが，お急ぎの文献がありましたら，FAX（校費のみ）や速達で文献を送ってもらう方法もありますので，お気軽に申し付け下さい。

（かわい　たえみ：医学部分館図書係）

お　知　ら　せ

・平成６年度東海地区国立大学図書館協議会（平成６年４月15日）について

上記会議が８大学から23名の出席を得て，本学を当番大学として開催されました。今年度の全国総会における協議題の検討等が協議され，終了後附属図書館及び附属農場の施設見学及び懇談会が行われました。

・学内LAN経由によるOPAC利用について

従来も研究室からモデム接続によってOPACの利用が可能でしたが，学内LANの敷設でより簡単に行えるようになりました。岐阜大学情報処理センターのホストコンピュータに接続後（接続方法は岐阜大学情報処理センター発行「岐阜大学キャンパス情報ネットワークへの招待」を参照）READY状態からOPACと入力すれば従来通りのメニューが表示され検索が可能になります。

・文献複写のカード方式への切り替えについて

平成６年度から本館，医学部分館とも校費による文献複写はカード方式に切り替わりました。複写の際には，カードをお忘れなく持参して下さい。なお，本館の文献複写室は２階休憩室横に移動しました。

・大型ビデオ装置の設置について

本館２階視聴覚コーナーに，最大６人まで同時に鑑賞できる大型ビデオ装置（50インチ・モニター）を設置しましたので，ご利用下さい。利用する際には，閲覧係に申し込み下さい。

・環境問題研究コレクション（平成５年度大型コレクション）について

上記コレクションの整理が済み，３階開架閲覧室に一括して配架されていますのでご利用下さい。

休館日のご案内　平成７年１月上旬まで

次のように**休館日**を予定しています。

・毎月第二火曜日
・夏季休業日の図書整理期間
　本　　館　８月１日（月）～８月８日（月）
　医学部分館　８月10日（水）～８月12日（金）
・12月27日（火）～１月５日（木）
・夏季及び冬季休業中の土曜日（夏季休業期間中の最初及び最後の土曜日を除く）

次のように**夜間開館の休止**を予定しています。（下記期間の閉館時間は17：00です）

　本　　館：７月18日（月）～８月24日（水），冬季休業期間中の平日
　医学部分館：８月８日（月）～８月12日（金），１月６日（金）～１月９日（月）

岐阜大学附属図書館報「寸胴」第13号　1994年６月30日
編　集　委員長：梶山雅史　委員：小川克正，吉見直己，山口七郎，森　生也，小林かず子，上口正昭
発　行　岐阜大学附属図書館
〒501－11 岐阜市柳戸１番１　☎0582－30－1111